

MC's Pick Up

旬の話題・気になるニュースを毎月お届け! モデル・カーズ・ピックアップ



拝啓、母なる大地より

photo:Yoshibiro-HATTORI(服部佳洋)

こちらはTJVの実車。ちなみにこのクラスのトラクターともなると、公道走行をする際には大型特殊免許が必要となる。
※実車写真協力:井関農機株式会社



ミニカーはボンネットが脱着可能。その中には自社開発の3.4リッター直立4気筒ディーゼル・ターボインタークーラーのE4DGエンジンも再現される。実車では耕耘作業、代掻き、農業散布から草刈りまで、各種アタッチメントが取り付けられる車体後部は、アームが上下する。スケールはジオラマ派にも気になる1/32。発売は9月の予定で、価格は1,890(税込)。

あらためていうまでもなく、他のあらゆるジャンルの国産車と同様、日本のトラクターもまた世界的に見てトップレベルの性能である。とはいえ、農家の方以外はなかなかトラクターに接する機会も少ないだろうから、そのミニチュアモデルとなると一般的な乗用車や商用車に比べ、限られた存在になってしまうのは致し方無いことかもしれない。しかし、一国を支える大きな力のひとつはやはり農業。その観点からすれば、大地を耕し食物を作り出す作業に欠かせないトラクターなどの農耕作業車に、もっとスポットが当たってもよいのではないだろうか。さらにいえば欧米の、特に食料自給率が高い国ほど、玩具から精巧なミニ

カーに至るまで、農耕作業車のミニチュアモデルが豊富に思えるのは、決して偶然ではなからう。

さて、この秋ダイヤベットの新たに加わるのがこのISEKI トラクター TJVだ。ミニカーの元となったのは井関農機の最新トラクター、T.JAPAN Vシリーズと呼ばれる機種。このT.JAPAN VシリーズにはTJV58からTJV63、TJV68……、そしてTJV95まで、全6機種がラインナップされているが、ダイヤベットのモデル化したのはTJV95。末尾二桁の数字はエンジンの出力を表しており、出力95馬力のTJV95は3.4リッター直立4気筒のディーゼル・ターボインタークーラーによってシリーズ最大のパワーを誇るモデルだ。最新のトラクターだけに高出力・低燃費・低振動・低騒音かつクリーンな排ガスといった高い環境性能、そして様々なアタッチメントに

よって多種多様な農作業に対応するのは当然として、実車はAT、パワステ、エアコン、ラジオやCDなどの快適装備まで充実している。

ちなみに井関農機株式会社とは、1926年(大正15年)年に「井関農具商会」として創立されて以来、農業機械の総合専門メーカーとして長い歴史を誇る老舗である。自社開発のトラクターを手がける以前の1960年代には、ポルシェ製トラクターの輸入を行っていたことでも知られる。

親子で一緒にニッポンの農業について、あるいは安心・安全な食物について、楽しく語るための食育ツール(!?)としても活躍してくれそうな、ISEKI トラクター TJVのミニカーではある。

株式会社アガツマ
http://www.wagatsuma.co.jp
Tel.04-7126-6611(お客様相談室)

●DK-6117 ISEKI トラクター TJV

